

## 《情報公開文書》

### 自己免疫疾患における免疫複合体研究

#### 研究の概要

【背景】自己免疫疾患では自己のタンパク質に対する抗体によって体内で抗原-抗体複合体(免疫複合体)が形成され、増加した免疫複合体が沈着した組織で炎症を起こすとされています。しかし、多くの疾患でどのタンパク質が抗体の標的となっているか明らかになっておらず、根治的な治療法も開発されていません。一方、免疫複合体はそれぞれの疾患や症状によって量、大きさ、構成されるタンパク質が異なることが報告されています。

【目的】本研究では、様々な自己免疫疾患の血清中の免疫複合体の特徴を調べ、それぞれの疾患で免疫複合体がどのように病態に関わっているかを明らかにします。

【意義】本研究によって免疫複合体の特徴が明らかになれば、自己免疫疾患の原因の解明や根治的な治療法の開発につながる重要な情報が得られる可能性があります。

【方法】自己免疫疾患者の血清および唾液検体に含まれる免疫複合体の量、大きさ、補体成分の結合有無、抗体の種類をそれぞれ調べ、それぞれの疾患や症状での免疫複合体の特徴を調べます。

#### 対象となる患者さん

2021年4月1日～2024年9月30日の期間に、鳥取大学医学部附属病院消化器内科・腎臓内科をクロール病もしくは潰瘍性大腸炎の診療目的で受診し、血清を採取された方を対象とします。

また、以下の研究目的で過去に診療情報、血清を収集された方の中で、潰瘍性大腸炎患者の方を対象とします。

#### 研究課題名

- 「患者背景・内視鏡診療情報による消化管癌発症リスクの検討」(課題番号 1508AO24)

#### 研究に用いる試料・情報

##### ●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

診療録の基本情報(性別、年齢、既往歴、薬剤歴、家族歴)、症状、検査所見(血算、血液分画、血液像、凝固系、AST、ALT、Bil、GTP、BUN、CK、Alb、GFR、Col、TG、Na、K、Cl、Ca、BS、HCO3-、アンモニアなど)、免疫血清検査結果(IgG、IgA、IgM、補体、抗体検査結

果)など

### ●研究に用いる試料

診療・研究目的で過去に収集された血清試料を使い、免疫複合体の特徴を調べます。

本研究で利用する試料・情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

### 試料・情報の利用開始予定日

本研究は研究機関長の許可日より「研究に用いる試料・情報」を利用する予定です。

あなたの試料・情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。対象となる患者さんの配偶者、父母、成人の子、成人の兄弟姉妹若しくは孫、祖父母、同居の親族またはそれらの親近者に準すると考えられる方からの研究不参加のお申し出やお問い合わせに対しても対応いたします。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

### 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、長崎大学病院薬剤部および長崎大学大学院医歯薬学総合研究科実践薬学分野の科学研究費補助金、運営交付金、ならびに研究責任者が獲得した研究費で行っており、特定の企業からの資金は用いず、利益相反状態にはありません。

### 研究実施期間

研究機関長の許可日～2030年3月31日

### 研究実施体制

研究代表者	所属：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 実践薬学分野 氏名：相原希美 住所：長崎県 長崎市 坂本1-7-1 電話：095(819)8569
共同研究機関／研究責任者	NHO長崎医療センター臨床研究センター／中村 稔 鳥取大学医学部附属病院消化器内科・腎臓内科/磯本 一
長崎大学病院における 試料・情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

### 問い合わせ先

【研究の内容、試料・情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 実践薬学分野 相原希美

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）8569

鳥取大学医学部附属病院消化器内科・腎臓内科 磯本 一

〒683-8504 鳥取県米子市西町36-1

電話：(0859)38-6527

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）